

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスはなはな		2026年3月6日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			曜日、時間帯、活動内容によっては、手狭に感じている。活動内容や過ごし方に応じた使用方法をその都度検討します。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童発達支援管理責任者を配置し、利用人数に対して基準人員常勤2名とプラス常勤1名と非常勤1名を配置しています。	送迎で職員の出入りが多い時もあります。子どもの人数が多い時間帯は体制を調整します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		部屋の色を分けたり、当日の参加者やスケジュールを視覚で分かるように写真や絵カードなどを使用しています。また、カラーテープで視覚的にわかりやすく活動スペースを区切る工夫を行う時もあります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		部屋数が限られていますので、小部屋を個別に使える時は使用し、状況的に厳しい時には、パーテーションで区切る等行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		会議や子ども達がいらない空いた時間に支援方法の見直しや改善等の共有をしています。	気になったことは、スタッフ全員で話をして共有を行います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		スタッフ全員で評価表を確認し、把握して業務改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にミーティングを実施して、各スタッフの意見を言ってもらっています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、外部評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部や内部研修を行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公開している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的な面談を行い、ニーズや希望等を確認し、計画に反映しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		会議を設けて、全員が参加できない時は個別に対応している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○		個々のニーズに合わせています。子どもの主体性を大切にしており、保護者の方と相談して、あえて固定化している場合もありますので、「はい」とは言いがたいです。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子ども達それぞれに合わせて作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日の体制等をホワイトボードへ掲示し、スタッフ間で共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		当日は送迎後となると退勤時間もあり出来ないこともあるが、合間の時間や翌日に振り返りや気づいた点を話をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の内容を記録し、検証・改善に繋がっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、必要があれば見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		開催された際には、積極的に参加し、その子どもの情報共有に努めています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		子どもによるが学校と情報の共有や連絡調整をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		法人内の成人のサービスを使われた際には、情報の提供を行っています。また、依頼があれば相談支援を通して法人外の成人のサービスを利用された方に対しても情報の提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		児童クラブや児童館との交流はないが、公園に行った際に、たまに地域の子どもと一緒に遊ぶ機会はございます。今年度は事業所連絡会のイベントに参加し、他の事業所や地域の子ども達と交流を行いました。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		積極的に参加しています。	子ども部会と事業所連絡会（障がい児部会）に参加し、障がい児部会においては、副会長として役割を担っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時にその日の様子等をお伝えし、お話をさせていただいています。またLINE等を使っている行ラケースもあります。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	ペアトレや家族等が参加できる研修は行っていないですが、必要に応じて育児相談などを行っています。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にご説明を行っています。	変更があった場合には、都度ご説明を行います。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報には十分に注意し管理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		事業所の行事に招待することはしていませんが、地域の防災訓練等にスタッフが参加する等は行っています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを事務所に掲示及びスタッフに周知し、確認を行っています。また保護者にも契約時に説明し配布を行っています。また訓練も行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		長期休みごとに避難訓練の日を設けています。毎回テーマごとに子ども達と勉強会、訓練は継続して行っています。	毎回、地震・火事などテーマごとに行っています。全員が訓練をすることが難しいですが、曜日を变えて参加出来るようにしています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始の際には、必ず服薬やてんかん等の確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		おやつの際には、アレルギー除去のおやつを提供またはご持参いただいております。また、食べる時間をずらす、席の間隔を空けるなどの対応をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事案があった場合は、記録に残し、再発防止案をスタッフミーティングの時に話し合いを行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	法人の方針として、身体拘束は行わないとありますので、保護者に説明や計画に記載等はありません。法人として、身体拘束適正化委員会は設けており、はなはなのスタッフも担っております。	